



令和8(2026)年度 学術研究助成募集要項



持続可能な未来のために、あなたの研究が輝く！



公益財団法人
令和環境財団





1. 理事長挨拶

2. 学術研究募集要項

3. 活動実績

4. 財団概要

5. お問い合わせ

1.理事長挨拶

環境問題は歴史が浅く、国際的な環境問題に対する取り組みとしては、1960年代から開始され、1972年に国連人間環境会議の開催と国連環境計画の設立が行われました。また日本においては、1971年に環境省が設置され、本格的に環境問題への取り組みがなされてきました。

当時は、産業公害問題、都市・生活型環境問題と、限られた地域での環境問題でしたが、この数十年の間に広がるスピードは速くかつ解決までに時間を有する地球環境問題となり、問題解決には長期的な視点でかつ国境を越えた地球規模での対応策が必要となってきました。

そこで我々は、この長期的でかつ広域的な環境問題を解決していくためには、柔軟なアイディアを持った若くて優秀な人材を育てていく必要があると考えております。そのためにも、我々の役割として、環境保全（技術）に関する学術研究への助成を行い、環境教育等の振興を図り、持続可能な社会の実現に向けて、未来の子供たち、地域社会、日本、地球環境へ貢献する人材を育成できる環境づくりを整備するために、財団法人を設立し、令和5年4月に内閣総理大臣より公益法人として認定をいただきました。

当財団はこれからより一層、学術研究助成を通じて循環型社会の実現に向けた取り組みを支援し、社会の持続的な発展に貢献する活動を行っていきます。

公益財団法人令和環境財団

理事長（代表理事） 小沢 常浩



2.学術研究募集要項

①応募資格

- ・令和8（2026）年4月2日現在、国内の大学院博士課程に在籍する研究者で35歳以下の方
- ・国籍は問いませんが、博士論文提出までの居住地が日本国内の方
- ・日本語で助成金申請書の記入及び事務局との対応ができる方
- ・申請する研究内容は、環境分野における博士号取得を目的としたものであれば、今後着手する研究、すでに研究途上にある研究のどちらでも構いません。

②対象期間

令和8（2026）年4月1日から令和9（2027）年3月31日までに実施予定の研究を対象とする。

③助成金額・使途

1名（複数名での応募の場合、1件）あたり50万円を上限とします。（6名（件）程度）

※助成金は、助成が決定次第、申請者本人の口座に送金いたします。

※助成金の使途は限定しません。ただし、大学等申請者が所属する組織の間接経費、一般管理費等は助成の対象外となりますのでご注意ください。

④応募方法



HPからの応募方法

STEP1

- ・当財団HPの募集要項へアクセス
<https://reiwa-kankyo.org/application>

STEP2

- ・Googleフォームより申請事項の入力
- ・所定フォーマット（助成金の支出金額、直近の研究費の収支状況について、推薦状）のアップロード

STEP3

- ・申込完了メールを受信したら助成金申請の受付は完了になります。



助成金申請書の提出による応募方法

STEP1

- ・当財団HPの募集要項へアクセスし助成金申請書一式をダウンロード
<https://reiwa-kankyo.org/application>

STEP2

- ・申請内容及び申請者情報を入力

STEP3

下記の住所宛に書類を送付ください。
〒107-0062
東京都港区南青山六丁目6番22号
クレスト・イシイ2階
公益財団法人令和環境財団
学術研究助成係宛

⑤選考、選考結果の通知

当財団の選考委員会による公正な選考を経て、理事会にて決定を行い令和8（2026）年7月末までに選考結果を文書にて応募者にお知らせいたします。

⑥被助成者の義務

- ・助成期間中に一度、研究の進捗についての中間報告書を、助成期間終了後1か月以内に完了報告書を提出していただきます。（各A4用紙で2枚程度）
- ・博士号取得後、学位取得論文を提出していただきます。また、その研究成果を当財団が発行する刊行物、ホームページ、開催する講演会などにおいて発表していただくことがあります。
- ・助成金の使途について、領収書を添付のうえ会計報告書を提出していただきます。
- ・助成金の使用内容が申請内容と著しく相違した場合、中間報告書及び完了報告書の提出がない場合、事情によって博士号取得に至らないことが明らかになった場合には、助成金を返金頂くことがあります。

⑦その他注意点

（被助成者名、助成対象研究課題等の公表）

助成対象となった場合、被助成者名、所属、研究テーマ、研究内容、助成金額等を公表させていただきます。

※開示内容につきましては事前にご連絡いたします。

（研究成果の帰属先及び助成者の進路）

当財団は被助成者が行った学術研究に対し権利の主張は行わず、権利は放棄します。

また、被助成者の卒業後の進路に当財団は関与いたしません。

（個人情報の取扱い）

申請書類に記載いただいた個人情報は、本要項に記載の用途を除き、当財団の審査に関する業務にのみ使用し、それ以外には使用いたしません。

（申請に要した費用）

申請に要した費用は申請者の自己負担となります。

（推薦者への連絡）

必要に応じて、推薦者に直接お問合せをさせていただくことがあります。

（審査結果、内容等の照会）

審査結果や審査内容についてのお問合せにはご対応いたしかねますのでご了承ください。

申請受付：令和8（2026）年4月1日（水）～ 5月31日（日）当日消印有効

3.活動実績

令和6（2024）年度実績

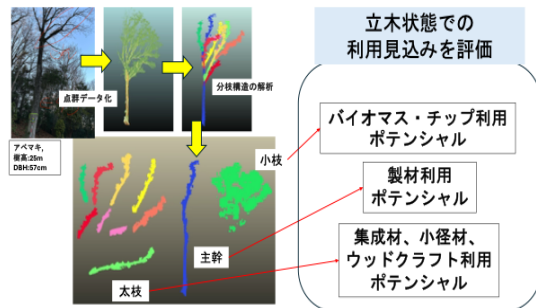
千葉大学大学院 再生生態学研究室 山田 誠太郎さん

広葉樹は生態系サービスや地域の木材利用において重要であるが、その資源量推定には課題が山積している。本研究では広葉樹単木の3Dデータにネットワーク解析を用いることで広葉樹の枝構造を考慮した資源量推定を可能にした。

●助成金の主な使途：

研究活動のためのPC及びカメラの購入費、広葉樹単木解析の調査のための旅費

背景：レーザー計測で広葉樹の部位ごとに需要マッチング

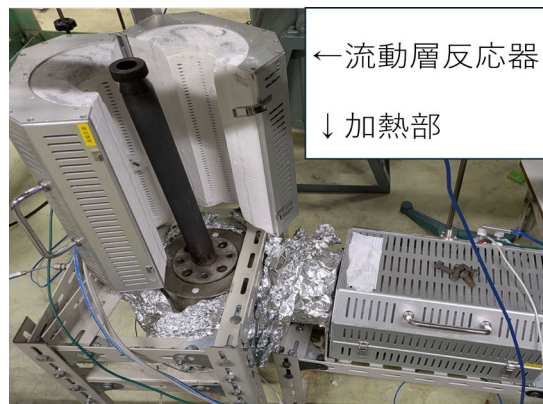


東京農工大学大学院 伏見研究室 青木 将大さん

本研究では、流動化現象が蓄熱材（熱を貯める材料）の蓄熱／放熱挙動に与える影響の解明を目指した。本助成によって流動化装置を用意し、流動化した蓄熱材の蓄放熱実験とモデリング、蓄熱材の流動化耐久性を調査した。

●助成金の主な使途：

流動化実験に使用する機器・消耗品の購入費

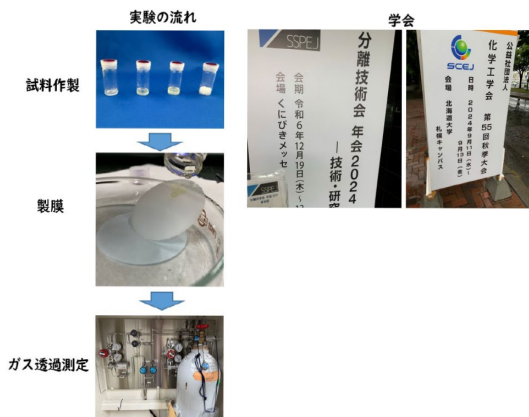


関西大学大学院 分離システム工学研究室 郭子倫さん

私は金属有機構造体（MOFs）と呼ばれる多孔質材料を用いて、ガス分離膜の作製およびガス透過メカニズムに関する研究を行っている。膜を作製する際、材料や支持体などの外部要因により、膜表面の不均一性や欠陥が生じやすいという課題が存在しており、現在、その課題の解決に向けて研究を進めている。今年度の研究内容をもとに、化学工学会秋季大会や分離技術会などの学術会議において研究成果を発表した。本財団の助成により、データ整理および学会で分かりやすく発表するためのタブレットの購入や、精密部品・消耗品費として支持体の購入を行った。また、本財団の助成によって試行実験を行うことができ、単一の実験過程において新たな現象を発見することができた。

●助成金の主な使途：

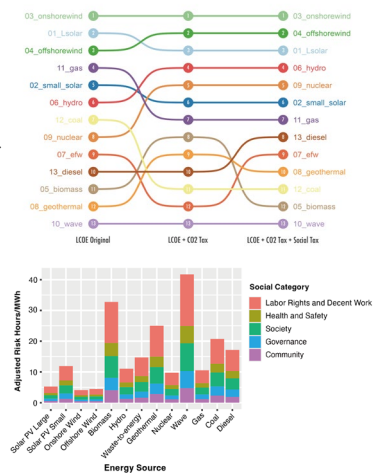
研究に使用する消耗品の購入費、研究会の参加費、学会発表のための機器購入費



九州大学大学院 都市・交通工学研究室 岩本 みささん

本研究は、社会LCA法を多国間産業連関分析に組み込むことで経済分析に人権の側面を統合する新たな計量経済手法を提案することを目指しています。本年度は構築した手法を用いて英国13電源の建設・運用における社会影響評価を行い、エネルギー源における包括的な持続可能性評価の重要性を提起しました。

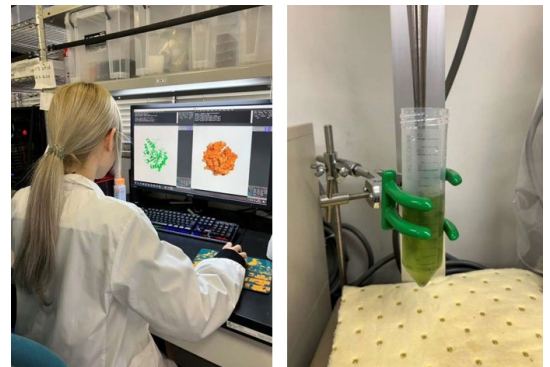
- 助成金の主な用途：
研究費及びPC等の設備備品費



三重大学大学院 水産物品質学研究室 堀 沙那恵さん

未利用海藻バイオマスβ-1,3-キシランの有効利用法の確立を目的とし、加水分解酵素についての研究を行った。本申請研究により、β-1,3-キシランからβ-1,3-キシロオリゴ糖及びキシロースを生ずる酵素の性質を明らかにし、効率的にβ-1,3-キシロピオースを生産する方法を確立した。

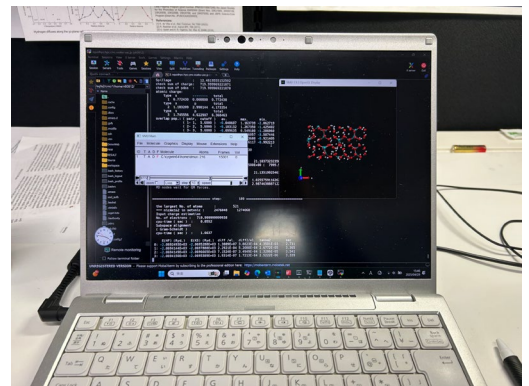
- 助成金の主な用途：
解析機器費、論文作成費、実験器具費



大阪大学大学院 兒玉研究室 村山 大輔さん

巨大氷惑星の内部に豊富に含まれる元素である炭素、水素、酸素によって構成される超イオン伝導体を第一原理分子動力学シミュレーションにより発見した。この研究成果により、二酸化炭素をリチウムイオン電池のような全固体電池に変換できる可能性を示し、氷惑星内部モデルの改良につながる。

- 助成金の主な用途：
スパコン設備利用費、学会参加費等



※当財団HPの活動報告にてすべての活動実績をご確認いただけます。
<https://reiwa-kankyo.org/activities>

4.財団概要

①法人概要

法人名	公益財団法人令和環境財団
理事長（代表理事）	小沢 常浩
設立年月日	令和4年3月16日（令和5年4月7日 内閣総理大臣より公益認定）
住所	東京都港区南青山六丁目6番22号 クレスト・イシイ2階
電話番号	03-6427-6627
URL	https://reiwa-kankyo.org/

②役員名簿

理事長（代表理事）	小沢 常浩	株式会社小沢資産ソリューション 代表取締役
理事	馬奈木 俊介	国立大学法人 九州大学 都市システム学 教授
理事	古瀬 智之	公益財団法人日本健康アカデミー 理事長
評議員	木下 通夫	元県庁職員
評議員	中瀬 心之介	循環資源ホールディングス株式会社 代表取締役
評議員	栗村 圭吾	みのり税理士法人 代表社員
監事	丸山 昇司	株式会社メディアフロント 代表取締役社長

5.お問い合わせ

公益財団法人令和環境財団 学術研究助成係
〒107-0062
東京都港区南青山六丁目6番22号 クレスト・イシイ2階
MAIL : info@reiwa-kankyo.org
（お問い合わせは上記メールアドレス宛にお願い致します）





公益財団法人
令和環境財団

<https://reiwa-kankyo.org/>

